

## 気候変動や環境汚染 手厚く報じる —2023 年度の環境報道—

朝日新聞は、最も重要な報道テーマとして環境問題を位置づけてきました。気候変動や再生可能エネルギー、プラスチックごみ削減や生物多様性の保護など、さまざまなテーマについて国内外のネットワークを生かした報道を続けています。

### ◆ 組織

編集局では、科学みらい部を中心に政治、経済、社会、暮らし報道などの各部署が連携して情報交換したり、企画案を出し合ったりしています。国際報道部の特派員や地域取材網を担うネットワーク報道本部、オピニオン編集部、GLOBE 編集部のメンバーも記事づくりに参加し、環境・エネルギーの社説を担当する論説委員とも定期的に意見交換しています。東日本大震災からの復興や原発をめぐる問題を主なテーマとする「復興・原発デスク会」も毎週開催しています。

### ◆ 報道

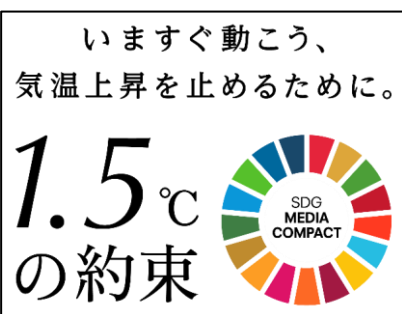
世界気象機関（WMO）によると、2023 年の世界の年間平均気温は、産業革命以前に比べて 1.45 度高く、観測史上最高を記録しました。世界各地で記録的な熱波や洪水が発生し、災害が半ば「日常化」する時代になっています。国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰の時代」と警鐘を鳴らし、各国に具体的な行動を呼びかけました。猛暑に見舞われた日本でも、「地球沸騰化」は新語・流行語大賞の一つに選ばれるなど、1 年を象徴するキーワードになりました。国内の熱中症による死者数は約 1300 人（5 年平均）に急増し、記録的な豪雨をもたらす線状降水帯の発生やゲリラ豪雨による水害が相次ぎました。

朝日新聞は、こうした異常気象の背景にある地球温暖化の問題を以前から丁寧に報じてきました。

22 年に国連広報センターが立ち上げたキャンペーン「1.5°C の約束」に朝日新聞は参加しています。世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて 1.5 度に抑えることを目指し、報道やイベントを通して訴えていく取り組みです。

気候変動の影響は、未来世代に重くのしかかります。アラブ首長国連邦（UAE）で開かれた国連気候変動会議（COP28）に参加した日本の若者たちや、大統領選を控えた米国で気候変動対策を訴える「ミレニアル世代」や「Z 世代」の声を連載企画で取り上げました。

日本は、温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロにすると宣言し、30 年度の排出量を 13 年度より 46% 減らす目標を国際社会に約束しています。岸田政権は 23 年 2 月、「GX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方



針」を閣議決定し、東京電力福島第一原発事故後に堅持してきた「原発依存度を可能な限り低減する」との方針を転換しました。原発の新規建設や運転期間の延長を認める「原発回帰」の政策が、政府が改定を進める次のエネルギー基本計画にどう盛り込まれるのか。脱炭素社会の実現に向けた戦略と合わせ、関係省庁や産業界などへの取材を通じて多角的に報じていきます。

23年度は全国でクマによる被害が相次ぎました。環境省によると、人的被害は過去最多の219人に上り、北海道などで6人が亡くなりました。朝日新聞は、各地の被害状況や駆除の取り組み、環境省による北海道のヒグマと本州のツキノワグマの「指定管理鳥獣」への追加といった対策に加え、野生動物と人間の共生のあり方を考える記事をオピニオン面などで取り上げました。また、私たちの身近なところに潜む外来種の問題、世界的な危機が指摘される生物多様性の保護についての報道にも力を入れてきました。

2024年内の合意を目指し、国連で山場の交渉が続くプラスチックごみ汚染条約づくりや、全国の水道水や地下水への汚染が相次いで発覚した有機フッ素化合物（PFAS）の問題についても引き続き、健康への影響や国が検討を進める規制のあり方について詳しく報じていきます。

東京電力福島第一原発事故に伴って発生し続ける汚染水から、ほとんどの放射性物質を取りのぞいた「処理水」の海洋放出は、引き続き注視していきます。朝日新聞は処理水について丁寧に説明すると同時に、風評被害を懸念する福島県民の思いも福島総局の記者とともに伝えてきました。東日本大震災からの復興の現状を伝える連載「3・11の現在地」では、廃炉作業によって増え続ける放射性廃棄物の問題についても取り上げています。

このほか、紙面では「科学・環境面」（火曜日朝刊）、「エコ&サイエンス面」（木曜日夕刊）を設け、身近な環境の話題を読者に届けています。朝日新聞環境取材チームのX（旧ツイッター、@asahi\_kankyo）では、記事の紹介を中心に環境の話題を発信しています。世界各地の気候変動や環境に関する話題はデジタルのGLOBE+ (<https://globe.asahi.com/>) や with Planet (<https://www.asahi.com/withplanet/>) でも取り上げています。